

市内の自然・史跡や特産品なども交えて見どころをお伝えしながら、地元の身近なウォーキングコースを紹介していきます。意外と知られていない名所や素晴らしい自然を巡りながら、皆さんも歩いてみませんか。



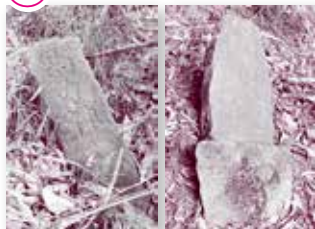
常陸太田市文化課エコミュージアム推進室 (☎72-3201)

大平町ハイキングコース

距離：約6.5km 所要時間：約2時間30分

大平町は、四方を森に囲まれ、のんびりとした雰囲気の特徴です。一方で国道 293 号や県道富岡玉造常陸太田線は交通量が多く、注意しながらスタートします。まずは大平の名前の由来になったともいわれる平らな台地上をめぐる。その後国道のバイパスから県道を東へ進み、柳沢地区へ向かいます。かつての村名が「大平柳沢」であったといわれるように、この地区には多くの人々が住んでいたようで、今でも周辺の森の中にはたくさんの井戸が残っています。また大平町は水戸藩の時代にマツタケの産地として有名。落葉樹が多く、秋は国道沿い、県道沿いともに紅葉が見事。さらに冬は野鳥を見つけやすいので、取材時にもベニマシコやヤマガラなどに会えました。周囲の静けさの中、鳥のさえずりが良く聞こえ、心も癒される大平町です。

① 馬力神碑



国道 293 号から細い道を入る。坂道を上りながら右手のお墓の入口に明治期の馬力神碑(写真⑤)、その先の道端左側には大正時代のもの(写真⑥)がひっそりとたたずむ

④ 越後塚



佐竹氏の家臣小澤越後守の墓。一軍の将として武功を重ね、市内の小沢地区周辺を領地としていたという。関ヶ原合戦後は常陸にとどまり、柳沢地区に居を構えた。これは生前に建てた墓といわれ、寛永 17 (1640) 年の銘が残る

⑤ 石仏



神社鳥居手前の地蔵像。左は昭和 14 (1939) 年、右は文化 7 (1810) 年と刻まれている

⑥ 柳沢飯綱神社



柳沢地区で守る神社。創建等は未詳



② 石仏



右脇には明治期の馬力神碑がある

坂道の途中にある。左の子安観音像には天保と刻まれている。右が如意輪観音像。さらに

③ 鹿嶋神社



字富士山に鎮座。元禄年間に徳川光圀が大平村の鎮守として創建したと伝えられる。石段は途中休み場なしの 182 段

⑦ あんばさま



大平農村集落センター奥の斜面を上ると祠がある。子どもの流行病を治す神様と伝えられている